

デジタルトランスフォーメーション調査2023 設問項目一覧

I	ビジョン・ビジネスモデル	デジタルガバナンス・コードの改訂を踏まえた調査項目変更箇所は赤字表記しています。
<p>【参考：デジタルガバナンスコードの柱となる考え方】 企業は、ビジネスとITシステムを一体的に捉え、デジタル技術による社会及び競争環境の変化が自社にもたらす影響（リスク・機会）を踏まえた、経営ビジョンの策定及び経営ビジョンの実現に向けたビジネスモデルの設計を行い、価値創造ストーリーとして、ステークホルダーに示していくべきである。</p>		
1	DX推進にむけたビジョンの策定	
1-1	デジタル技術による社会及び競争環境の変化が自社にもたらす影響（リスク・機会）を踏まえ、経営方針および経営計画（中期経営計画・統合報告書等）において、DXの推進に向けたビジョンを掲げていますか。	
	1	デジタル技術による社会及び競争環境の変化が自社にもたらす影響（リスク・機会）を踏まえ、DX推進に向けたビジョンを掲げている
	2	DXの推進に向けたビジョンを掲げているが、デジタル技術による社会及び競争環境の変化が自社にもたらす影響（リスク・機会）は考慮していない
	3	DXの推進に向けたビジョンを掲げていない
1-2	Q1-1で1または2を選択された場合は回答してください。 その内容を株主・投資家等のステークホルダーに開示していますか。	
	1	すでにステークホルダーに開示している
	2	開示を準備中である
	3	開示の予定はない
1-3 記述	Q1-1で1または2を選択された場合は回答してください。 その内容が記載された経営方針または経営計画の資料名を記入してください。 当該資料が社外に開示されている場合は開示場所（資料名称、URL等）も記入してください。 例：統合報告書(URL)5ページ、アニュアルレポート(別紙1) 20ページに記載	
2	経営ビジョンの実現に向けたビジネスモデルの設計	
2-1	DXの推進に向けたビジョンを実現するため、適切なビジネスモデルを設計していますか。	
	1	DXの推進に向けたビジョンと密接に連動したビジネスモデルを設計済みである
	2	DXの推進に向けたビジョンと密接に連動したビジネスモデルを設計中である
	3	DXの推進を踏まえたビジネスモデル設計を行っていない
2-2 記述	Q2-1で1または2を選択された場合は回答してください。 ビジネスモデルの概要を記入してください。 記入のビジネスモデルが社外に開示されている場合は、開示場所（資料名称、URL等）を併せて記入してください。 例：製品提供におけるサブスクリプションモデル展開（URL）	

3	エコシステム・企業間連携	
3-1	ビジネスモデルを実現するために、DX推進においてエコシステム等、企業間連携を主導していますか。	
	1	主導している
	2	エコシステムに参画している
	3	エコシステムへの参画を具体的に計画している
	4	予定・計画がない
3-2 記述	<p>Q3-1で1～3を選択された場合は回答してください。 実施内容の概要を記入してください。 例：インターネットプラットフォーム企業とのエコシステムを構築し、自社のデータを活用した新サービスを展開</p>	
4	社会や業界の課題解決につながるDX	
4-1	自社にとどまらず、社会や業界の課題解決に向けてDXを牽引しようとしていますか。	
	1	社会や業界の課題解決に貢献しており、既に牽引しているといえる
	2	自社の外に対する成果が出始めている
	3	DXの取組は自社にとどまっている
4-2 記述	<p>Q4-1で1または2を選択された場合は回答してください。 例：●●サービスの活用による業界標準化（URL）</p>	
5	経営方針転換やグローバル展開等への迅速な対応	
5-1	デジタルによるビジネスモデルの変革が、経営方針転換やグローバル展開等に迅速に対応できるものとなっていますか。	
	1	迅速に対応できるものになっている
	2	即時性はないものの、対応できるものにはなっている
	3	対応できるものになっていない
5-2 記述	<p>Q5-1で1または2を選択された場合は回答してください。 実施内容の概要を記入してください。 例：国内外拠点横断のデジタル活用推進体制について（URL）</p>	

II 戦略	
<p>企業は、社会及び競争環境の変化を踏まえて目指すビジネスモデルを実現するための方策としてデジタル技術を組み込んだ戦略を策定し、ステークホルダーに示していくべきである。</p>	
6	ビジネスモデルを実現するための戦略の策定
6-1	DXを推進するための戦略が具体化されていますか。
1	DXを推進するためのビジョン・ビジネスモデルを実現するための戦略を策定済みである。戦略の中では、DXを推進するための組織・制度やデジタル技術の活用等について具体的な言及がなされ、スケジュールについても明確になっている
2	DXを推進するためのビジョン・ビジネスモデルを実現するための戦略を策定済みである。DXを推進するための組織・制度やデジタル技術の活用等についての具体的な記載や、スケジュールについては今後の課題である
3	DXを推進するためのビジョン・ビジネスモデルを実現するための戦略を策定中である
4	DXを推進するためのビジョン・ビジネスモデルを実現するための戦略の策定はこれからの課題である
6-2	Q6-1で1～3を選択された場合は回答してください。 その内容をステークホルダーに開示していますか。
1	すでにステークホルダーに開示している
2	開示を準備中である
3	開示の予定はない
6-3 記述	Q6-1で1～3を選択された場合は回答してください。 計画の名称を記入してください。また社外に開示している場合は開示場所（URL等）も記入してください。 例：●●DX2025プラン（URL）
7	既存ビジネスの変革を実現する取組
7-1	経営戦略において、データとデジタル技術を活用して既存ビジネスの変革を目指す取組（顧客関係やマーケティング、既存の製品やサービス、オペレーション等の変革による満足度向上等）が明示されており、その取組が実施され、効果が出ていますか。
1	本格的に実施しており効果が出ている
2	本格的に実施しはじめたが、効果はまだわからない
3	一部で実施している
4	経営戦略に定められているが、まだ実施していない（3年以内に実施予定）
5	経営戦略に定められていない
7-2 記述	Q7-1で1～3を選択された場合は回答してください。 取組（プロジェクト）のタイトル、概要について記入してください。 ※取組の概要がわかる資料について公開されている場合は、公開先（資料名称、URL等）を併せてご記入ください。 例：AIを活用したコールセンターにおける個別対応プロジェクト（URL）

8	新規ビジネス創出	
8-1	経営戦略において、データとデジタル技術を活用した新規ビジネス創出について明示されており、その取組が実施され、効果が出ていますか。	
	1	本格的に実施しており効果が出ている
	2	本格的に実施しはじめたが、効果はまだわからない
	3	一部で実施している
	4	経営戦略に定められているが、まだ実施していない（3年以内に実施予定）
	5	経営戦略に定められていない
8-2 記述	<p>Q8-1で1～3を選択された場合は回答してください。 取組（プロジェクト）のタイトル、概要について簡単に記入してください。 ※取組の概要がわかる資料について公開されている場合は、公開先（資料名称、URL等）を併せてご記入ください。 例：製品提供におけるサブスクリプションモデル展開（URL）</p>	
9	既存ビジネスの変革や新規ビジネスを創出するための取組みについての統合報告書での開示	
9-1	Q7及び8で回答した取組について、統合報告書等でステークホルダーに開示していますか。	
	1	すでにステークホルダーに開示している
	2	開示を準備中である
	3	開示の予定はない
9-2 記述	<p>Q9-1で1を選択された場合は回答してください。 公開されている資料の名称及びURLを記入してください。 例：アニュアルレポート（URL）●ページ</p>	

10	データを基にした意思決定	
10-1	経営状況や事業の運営状況を把握できる仕組み（システム）があり、そこから得られるデータをふまえて経営・事業の意思決定が実施されていますか。	
	1	仕組み（システム）があり、データを踏まえた意思決定ができています
	2	仕組みはあるが意思決定には反映されていない
	3	仕組みがない
10-2 記述	Q10-1で1または2を選択された場合は回答してください。 導入している仕組みやシステムの名称・概要を簡潔に記入してください。	

II-① 組織づくり・人材・企業文化に関する方策											
<p>企業は、デジタル技術を組み込んだ戦略の推進に必要な体制を構築するとともに、組織設計・運営の在り方について、ステークホルダーに示していくべきである。その際、人材の確保・育成や外部組織との関係構築・協業も、重要な要素として捉えるべきである。</p>											
11	DX責任者、CTO、CIO、データ責任者の位置付け										
11-1	<p>DXの推進をミッションとする責任者（Chief Digital Officerとしての役割）、CTO（企業の競争優位性をつくる技術や研究開発の統括責任者、Chief Technology Officer）、CIO（ITに関する統括責任者、Chief Information Officer）、データに関する責任者（Chief Data Officer）が、組織上位置付けられ、ミッション・役割を含め明確に定義され任命されていますか（他の役割との兼任でもかまいません）。</p> <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>いずれも組織上明確に位置付けられ、ミッション・役割が定義されている</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4つの役割のうち3つは位置付けられている</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4つの役割のうち2つは位置付けられている</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4つの役割のうち1つは位置付けられている</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>いずれも認識されていない、該当する人はいない</td> </tr> </table>	1	いずれも組織上明確に位置付けられ、ミッション・役割が定義されている	2	4つの役割のうち3つは位置付けられている	3	4つの役割のうち2つは位置付けられている	4	4つの役割のうち1つは位置付けられている	5	いずれも認識されていない、該当する人はいない
1	いずれも組織上明確に位置付けられ、ミッション・役割が定義されている										
2	4つの役割のうち3つは位置付けられている										
3	4つの役割のうち2つは位置付けられている										
4	4つの役割のうち1つは位置付けられている										
5	いずれも認識されていない、該当する人はいない										
11-2	<p>Q11-1で1～4を選択された場合は回答してください。 それぞれ、該当する方の役職を記入してください。ミッションや役割が定義されている場合はその内容を併せてご記入ください。 例：DX責任者：執行役員CDO（Chief Digital Officer）、CTO／CIO／データ：執行役員IT本部長</p>										
12	経営層のスキルマトリックス等の作成及び公表										
12-1	<p>スキルマトリックス等により、経営層（経営者及び取締役・執行役員等）の保有スキル可視化し、ステークホルダーに向け公表していますか。</p> <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>スキルマトリックス等を作成し、公表している</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>スキルマトリックス等の作成に向け準備を進めている</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>スキルマトリックス等作成の予定はない</td> </tr> </table>	1	スキルマトリックス等を作成し、公表している	2	スキルマトリックス等の作成に向け準備を進めている	3	スキルマトリックス等作成の予定はない				
1	スキルマトリックス等を作成し、公表している										
2	スキルマトリックス等の作成に向け準備を進めている										
3	スキルマトリックス等作成の予定はない										
12-2	<p>Q12-1で1または2を選択された場合は回答してください。 どのようなスキルマトリックス等を作成し公表しているか（あるいはスキルマトリックス等の作成に向けどのような準備を進めているか）、概要を簡潔に記載ください。 公表されている場合は、公表場所（資料名称、URL等）を併せてご記入ください。</p>										

13	経営層のデジタルに関する情報交換及び主体的な戦略への落とし込み	
13-1	取締役会や経営会議等の場において、経営トップが最新のデジタル技術や新たな活用事例に関する情報交換を定期的に行うとともに、自社の戦略への落とし込みについて自ら主体的に検討を行っていますか。	
13-2 記述	1	取締役会等の場において経営トップが最新のデジタル技術等に関する情報交換を定期的に行うとともに、戦略への落とし込みについて自ら主体的に検討を行っている
	2	取締役会等の場において経営トップが最新のデジタル技術等に関する情報交換を定期的に行っているが、戦略への落とし込みの検討に至っていない、又は主体的に検討に関わっていない
	3	取締役会等の場において経営トップが最新のデジタル技術等に関する情報交換を定期的に行っていない
13-2 記述	Q13-1で1または2を選択された場合は回答してください。 取締役会等の場でどのような情報交換をされているか、また、その結果としてどのように戦略への落とし込みが図られているか、それぞれ具体的にお示しください。	
14	経営トップによる最新のデジタル技術等の情報収集	
14-1	経営トップが最新のデジタル技術や新たな活用事例を知る機会として、どのようなものがありますか。（複数回答可）	
	1	新聞・雑誌等のメディア、SNS等のソーシャルメディア
	2	経営者個人つながり、経営者が参加しているコミュニティ
	3	セミナー等への参加
	4	海外等の視察
	5	CTO、CIO、IT部門長等からの定期的なレポート、レクチャー等
	6	特になし
14-2 記述	Q14-1で1～5を選択された場合は回答してください。 それぞれ、どのような取組をされているか、概要を簡潔に記載ください。	

15	企業価値向上のためのDX推進体制								
15-1	<p>DXを推進する、組織上位置付けられた専任組織がありますか。</p> <table border="1" data-bbox="159 237 1549 591"> <tr> <td data-bbox="159 237 236 318">1</td> <td data-bbox="236 237 1549 318">組織上位置付けられた専任組織がある</td> </tr> <tr> <td data-bbox="159 318 236 405">2</td> <td data-bbox="236 318 1549 405">専任組織はないが、DXをミッションとした、事業部門・IT部門・デジタル技術担当者等が連携した横断的組織（プロジェクトチーム等）がある</td> </tr> <tr> <td data-bbox="159 405 236 521">3</td> <td data-bbox="236 405 1549 521">事業部門が必要に応じて独自に企画・推進している</td> </tr> <tr> <td data-bbox="159 521 236 591">4</td> <td data-bbox="236 521 1549 591">事業部門の要望によりIT部門・デジタル技術担当者が都度対応している</td> </tr> </table>	1	組織上位置付けられた専任組織がある	2	専任組織はないが、DXをミッションとした、事業部門・IT部門・デジタル技術担当者等が連携した横断的組織（プロジェクトチーム等）がある	3	事業部門が必要に応じて独自に企画・推進している	4	事業部門の要望によりIT部門・デジタル技術担当者が都度対応している
1	組織上位置付けられた専任組織がある								
2	専任組織はないが、DXをミッションとした、事業部門・IT部門・デジタル技術担当者等が連携した横断的組織（プロジェクトチーム等）がある								
3	事業部門が必要に応じて独自に企画・推進している								
4	事業部門の要望によりIT部門・デジタル技術担当者が都度対応している								
15-2	<p>Q15-1で1または2を選択された場合は回答してください。 上記組織のリソース（人材）および権限は十分ですか。</p> <table border="1" data-bbox="159 689 1549 826"> <tr> <td data-bbox="159 689 236 759">1</td> <td data-bbox="236 689 1549 759">組織のミッションが実現に十分なリソース・権限がある</td> </tr> <tr> <td data-bbox="159 759 236 826">2</td> <td data-bbox="236 759 1549 826">十分なリソース・権限があるとは言えない</td> </tr> </table>	1	組織のミッションが実現に十分なリソース・権限がある	2	十分なリソース・権限があるとは言えない				
1	組織のミッションが実現に十分なリソース・権限がある								
2	十分なリソース・権限があるとは言えない								
15-3 記述	<p>Q15-1で1または2を選択された場合は回答してください。 その組織名とミッションを記入してください。 例：（組織名）デジタルイノベーション推進部、（ミッション）●●グループにおけるDXの推進</p>								
16	DX推進を支える人材								
16-1	<p>DX推進を支える人材として、どのような人材が必要かが明確になっており、確保のための取組を実施していますか（計画的な育成、中途採用、外部からの出向、事業部門・IT担当部門間の人事異動等）</p> <table border="1" data-bbox="159 1368 1549 1592"> <tr> <td data-bbox="159 1368 236 1424">1</td> <td data-bbox="236 1368 1549 1424">明確になっており、現状必要な人材を確保できている</td> </tr> <tr> <td data-bbox="159 1424 236 1480">2</td> <td data-bbox="236 1424 1549 1480">明確になっており、確保のために取り組んでいる</td> </tr> <tr> <td data-bbox="159 1480 236 1536">3</td> <td data-bbox="236 1480 1549 1536">必ずしも明確ではないが、確保のために取り組んでいる</td> </tr> <tr> <td data-bbox="159 1536 236 1592">4</td> <td data-bbox="236 1536 1549 1592">明確になっておらず、確保にも取組めていない</td> </tr> </table>	1	明確になっており、現状必要な人材を確保できている	2	明確になっており、確保のために取り組んでいる	3	必ずしも明確ではないが、確保のために取り組んでいる	4	明確になっておらず、確保にも取組めていない
1	明確になっており、現状必要な人材を確保できている								
2	明確になっており、確保のために取り組んでいる								
3	必ずしも明確ではないが、確保のために取り組んでいる								
4	明確になっておらず、確保にも取組めていない								
16-2 記述	<p>Q16-1で1または2を選択された場合は回答してください。 必要な人材の概要・確保のための取組概要を記入してください。また、成果が出ている場合にはその点も記載ください。 例：最新のデジタル技術とビジネスニーズをつないで活用を推進できる人材。中途採用および事業部門からの人事異動を実施。成果として、全社員のうち●%がシステム開発が可能な人材となっており、外部ベンダーへの丸投げといったことも発生しない</p>								

17	外部リソースの活用・外部組織との協調	
17-1	DXの推進にあたり、オープンイノベーション、社外アドバイザー・パートナーの活用、スタートアップ企業との協業など、これまでのIT分野での受発注関係と異なる外部リソースの活用を実施していますか。	
	1	これまでと異なる外部リソースの活用を実施している
	2	実施を具体的に計画している
	3	予定・計画はない
17-2 記述	<p>Q17-1で1を選択された場合は回答してください。 実施・検討内容の概要を記入してください。 例：大学発のスタートアップ企業との協業</p>	
18	DX推進のための予算	
18-1	DX推進のための予算が一定の金額または一定の比率確保されていますか。またそれは他のIT予算と別で管理されており、IT予算の増減による影響を受けないようになっていますか。	
	1	一定予算枠を常に確保しており、他の予算からの影響は受けない
	2	一定予算枠を常に確保しているが、IT予算と一緒に管理しており、他のIT予算からの影響を受ける
	3	一定予算枠はないが、年度予算ごとに確保している
	4	特段確保していない
18-2 記述	<p>Q18-1で1または2を選択された場合は回答してください。 DX推進予算について記載されている資料名・該当ページ等を記入してください。 当該資料が公表されている場合は、公表先（URL等）をご記入ください。 例：FY2020全社IT投資計画書／FY2020IT白書（URL）●～●ページに記載</p>	

19	全社員のDX受け入れ・普及のための仕組み						
19-1	<p>全社員が、デジタル技術を抵抗なく活用し、自らの業務を変革していくことを支援する仕組み（教育・人事評価制度等）がありますか。</p> <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>全社員を対象とした仕組みがある</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>一部の社員を対象とした仕組みがある</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>現状仕組みはない</td> </tr> </table>	1	全社員を対象とした仕組みがある	2	一部の社員を対象とした仕組みがある	3	現状仕組みはない
1	全社員を対象とした仕組みがある						
2	一部の社員を対象とした仕組みがある						
3	現状仕組みはない						
19-2 記述	<p>Q19-1で1または2を選択された場合は回答してください。 取組の概要を記入してください。 例：選抜された職員を定期的に海外視察させている。</p>						
20	DX推進・新たな挑戦を支援する仕組み						
20-1	<p>DXの推進にあたり、新しい挑戦を促すとともに、継続的に挑戦し、積極的に挑戦していこうとするマインドセット醸成を目指した、活動を支援する制度、仕組みがありますか。</p> <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>トライアル（POC）・リーンスタートアップ等を促進する制度・仕組み（評価制度等）があり、ビジネス展開につなげるための仕組みも構築している</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>トライアル（POC）のための制度・仕組みがあり積極的に取り組んでいる</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>必用に応じ稟議を経て承認する</td> </tr> </table>	1	トライアル（POC）・リーンスタートアップ等を促進する制度・仕組み（評価制度等）があり、ビジネス展開につなげるための仕組みも構築している	2	トライアル（POC）のための制度・仕組みがあり積極的に取り組んでいる	3	必用に応じ稟議を経て承認する
1	トライアル（POC）・リーンスタートアップ等を促進する制度・仕組み（評価制度等）があり、ビジネス展開につなげるための仕組みも構築している						
2	トライアル（POC）のための制度・仕組みがあり積極的に取り組んでいる						
3	必用に応じ稟議を経て承認する						
20-2 記述	<p>Q20-1で1または2を選択された場合は回答してください。 制度の名称、仕組みの概要等を記入してください。 例：「●●新ビジネスアイデアラボ2020」 事業部とデジタル担当の若手が新たなアイデアを検討、優れたアイデアについては事業部へのプレゼンを通して実行につなげる。</p>						
21	デジタルに関するスキルを身につけた社員の適切な人材配置						
21-1	<p>デジタルに関する専門知識を身につけた社員が、その知識を活用し、より実践的なスキルを身につけられるような人材配置の仕組みがありますか。</p> <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>デジタルに関する専門知識を身につけた社員の適切な人材配置の仕組みがある</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>デジタルに関する専門知識を身につけた社員の適切な人材配置の仕組みを構築しているところである</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>デジタルに関する専門知識を身につけた社員の適切な人材配置の仕組みはない</td> </tr> </table>	1	デジタルに関する専門知識を身につけた社員の適切な人材配置の仕組みがある	2	デジタルに関する専門知識を身につけた社員の適切な人材配置の仕組みを構築しているところである	3	デジタルに関する専門知識を身につけた社員の適切な人材配置の仕組みはない
1	デジタルに関する専門知識を身につけた社員の適切な人材配置の仕組みがある						
2	デジタルに関する専門知識を身につけた社員の適切な人材配置の仕組みを構築しているところである						
3	デジタルに関する専門知識を身につけた社員の適切な人材配置の仕組みはない						
21-2 記述	<p>Q21-1で1または2を選択された場合は回答してください。 例：スキル・資格に基づく社内公募型人材配置制度について（URL）</p>						
22	デジタル人材の育成・確保に関するアピール						

22-1	<p>自社のデジタル人材育成・確保に関する考え方が、外部に対しても効果的にアピールされていますか。</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="164 127 236 181">1</td> <td data-bbox="236 127 1552 181">効果的にアピールできており、効果が出ている</td> </tr> <tr> <td data-bbox="164 181 236 235">2</td> <td data-bbox="236 181 1552 235">アピールに取り組んでいるが、効果はでていない</td> </tr> <tr> <td data-bbox="164 235 236 297">3</td> <td data-bbox="236 235 1552 297">アピールできていない</td> </tr> </table>	1	効果的にアピールできており、効果が出ている	2	アピールに取り組んでいるが、効果はでていない	3	アピールできていない
1	効果的にアピールできており、効果が出ている						
2	アピールに取り組んでいるが、効果はでていない						
3	アピールできていない						
22-2 記述	<p>Q22-1で1または2を選択された場合は回答してください。 外部に対して実際にアピールされた効果や、当該メディアや内容等を具体的に記入してください。</p>						
23	<p>経営ビジョンの実現に向けたデジタル活用の行動指針</p>						
23-1	<p>社員一人ひとりが、仕事のやり方や行動をどのように変えるべきかが分かるような、経営ビジョンの実現に向けたデジタル活用の行動指針を定め、公開していますか</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="164 786 236 840">1</td> <td data-bbox="236 786 1552 840">行動指針を定め、既に公開している</td> </tr> <tr> <td data-bbox="164 840 236 893">2</td> <td data-bbox="236 840 1552 893">行動指針を定めているが、公開はしていない</td> </tr> <tr> <td data-bbox="164 893 236 947">3</td> <td data-bbox="236 893 1552 947">行動指針を定めていない</td> </tr> </table>	1	行動指針を定め、既に公開している	2	行動指針を定めているが、公開はしていない	3	行動指針を定めていない
1	行動指針を定め、既に公開している						
2	行動指針を定めているが、公開はしていない						
3	行動指針を定めていない						
23-2 記述	<p>Q23-1で1または2を選択された場合は回答してください。 例：●●ビジョン2025 全社統一行動指針（URL）</p>						

II-② ITシステム・デジタル技術活用環境の整備に関する方策

企業は、デジタル技術を組み込んだ戦略の推進に必要なITシステム・デジタル技術活用環境の整備に向けたプロジェクトやマネジメント方策、利用する技術・標準・アーキテクチャ、投資計画等を明確化し、ステークホルダーに示していくべきである。

24 最新デジタル技術と既存の情報システムとの連携

24-1 ビジネス環境の変化に迅速に対応できるよう、既存の情報システムおよびデータが、新たに導入する最新デジタル技術とスムーズかつ短期間に連携できるとともに、既存データを活用できるようになっていますか。

- | | |
|---|--------------------------------------------|
| 1 | スムーズかつ短期間に連携できるようなアーキテクチャーとなっている |
| 2 | 既存のITおよびデータをデジタル技術と連携させるための改造に着手している |
| 3 | 既存のITおよびデータをデジタル技術と連携させるための改造を計画（3年以内）している |
| 4 | 改造を実施したいが難しい状態である |
| 5 | 既存のITおよびデータから独立しているので、連携は必要ない |

24-2 記述 Q24-1で1を選択された場合は回答してください。
関連するデータ定義書等の名称を記入してください。

例：グループデータディクショナリー

25 戦略実現ための情報システムの分析・評価

25-1 全社の情報システムが戦略実現の足かせとならないように、定期的にビジネス環境や利用状況をふまえ、情報資産の現状を分析・評価し、課題を把握できていますか。

- | | |
|---|---------------------------------------------------------|
| 1 | 定期的（年1～数回）に、また継続的に、自社グループにおける情報資産全体の課題について、分析・評価を実施している |
| 2 | 定期的（年1～数回）に、一部の重要な情報資産については分析・評価を実施している |
| 3 | 問題が発生したタイミングで調査・分析、対応している |

25-2 記述 Q25-1で1または2を選択された場合は回答してください。
確認・見直しの報告に関する文書の名称・概要を記入してください。

例：●●社IT報告書

26	情報システムの改善・見直し								
26-1	<p>Q25-1で実施した分析・評価の結果を受け、技術的負債（レガシーシステム）が発生しないよう、必要な対策を実施できていますか。またそれを実施するための体制（組織や役割分担）を整えていますか。</p> <table border="1" data-bbox="159 219 1549 629"> <tr> <td data-bbox="159 219 239 331">1</td> <td data-bbox="239 219 1549 331">すでに全社的・抜本的な対策（システム刷新等）を実施済みであり、定期的な評価結果に基づき、継続的に柔軟かつ迅速な対応ができています</td> </tr> <tr> <td data-bbox="159 331 239 443">2</td> <td data-bbox="239 331 1549 443">定期的な評価結果に基づいたアクションプランが立案されており、それを実施するための体制を整備し、計画に沿って実行している</td> </tr> <tr> <td data-bbox="159 443 239 499">3</td> <td data-bbox="239 443 1549 499">評価結果に基づいたアクションプランは立案しているものの、それを実施するための体制までは整備しておらず、今後実施する予定である</td> </tr> <tr> <td data-bbox="159 499 239 629">4</td> <td data-bbox="239 499 1549 629">アクションプランは立案しておらず、問題があった場合に都度必要な対策を実施している</td> </tr> </table>	1	すでに全社的・抜本的な対策（システム刷新等）を実施済みであり、定期的な評価結果に基づき、継続的に柔軟かつ迅速な対応ができています	2	定期的な評価結果に基づいたアクションプランが立案されており、それを実施するための体制を整備し、計画に沿って実行している	3	評価結果に基づいたアクションプランは立案しているものの、それを実施するための体制までは整備しておらず、今後実施する予定である	4	アクションプランは立案しておらず、問題があった場合に都度必要な対策を実施している
1	すでに全社的・抜本的な対策（システム刷新等）を実施済みであり、定期的な評価結果に基づき、継続的に柔軟かつ迅速な対応ができています								
2	定期的な評価結果に基づいたアクションプランが立案されており、それを実施するための体制を整備し、計画に沿って実行している								
3	評価結果に基づいたアクションプランは立案しているものの、それを実施するための体制までは整備しておらず、今後実施する予定である								
4	アクションプランは立案しておらず、問題があった場合に都度必要な対策を実施している								
26-2 記述	<p>Q26-1で1または2を選択された場合は回答してください。 実施した対応策を記入してください。 例：全社的にシステムを見直し、刷新あるいは破棄すべきものはサンクコストとしてこれ以上コストをかけないよう破棄している。また協調領域を見極めることで標準パッケージや共通プラットフォームを活用するなど戦略的に対応している</p>								
27	情報システムの全社最適化の取組								
27-1	<p>情報システムの全社最適を目指し、全社のデータ整合性を確保するとともに、事業部単位での個別最適による複雑化・ブラックボックス化を回避するための仕組みがありますか。</p> <table border="1" data-bbox="159 1120 1549 1420"> <tr> <td data-bbox="159 1120 239 1232">1</td> <td data-bbox="239 1120 1549 1232">全社情報システムの最適化を目指し、全社のマスターデータを統合するなど、データの整合性を確保できている。また個別最適を回避するためのシステム構築時の計画確認などの仕組みがある</td> </tr> <tr> <td data-bbox="159 1232 239 1332">2</td> <td data-bbox="239 1232 1549 1332">全社データの整合性確保はこれからの取組だが、全社情報システムの最適化を目指した、個別最適を回避するためのシステム構築時の計画確認などの仕組みがある</td> </tr> <tr> <td data-bbox="159 1332 239 1420">3</td> <td data-bbox="239 1332 1549 1420">全社的な情報システムの最適化は確保できていない</td> </tr> </table>	1	全社情報システムの最適化を目指し、全社のマスターデータを統合するなど、データの整合性を確保できている。また個別最適を回避するためのシステム構築時の計画確認などの仕組みがある	2	全社データの整合性確保はこれからの取組だが、全社情報システムの最適化を目指した、個別最適を回避するためのシステム構築時の計画確認などの仕組みがある	3	全社的な情報システムの最適化は確保できていない		
1	全社情報システムの最適化を目指し、全社のマスターデータを統合するなど、データの整合性を確保できている。また個別最適を回避するためのシステム構築時の計画確認などの仕組みがある								
2	全社データの整合性確保はこれからの取組だが、全社情報システムの最適化を目指した、個別最適を回避するためのシステム構築時の計画確認などの仕組みがある								
3	全社的な情報システムの最適化は確保できていない								
27-2 記述	<p>Q27-1で1を選択された場合は回答してください。 関連するデータ定義書等の名称を記入してください。 例：グループマスターデータ規定、●●社開発標準の順守義務付け</p>								

28	事業部門のオーナーシップ	
28-1	<p>全社最適で策定された計画の実行段階においては、各事業部門が自己の利害に固執して全体最適から離れてしまわないよう注意を払いながら、オーナーシップをもって、その完遂に向けて努力していますか。</p>	
	1	ITシステム等の構築に際して、各事業部門がIT部門に丸投げすることなく、オーナーシップをもって完遂に向けて取り組んでいる
	2	ITシステム等の構築に際して、各事業部門も一定程度関与している
	3	ITシステム等の構築はIT部門に一任している
28-2 記述	<p>Q28-1で1または2を選択された場合は回答してください。 各事業部門のオーナーシップ発揮に努めるための実行段階における、各事業部門の参画体制や全体最適化を保つための具体的な方策（社内ルール等）について記入してください。</p>	

Ⅲ	成果と重要な成果指標
----------	-------------------

企業は、デジタル技術を組み込んだ戦略の達成度を測る指標を定め、ステークホルダーに対し、指標に基づく成果についての自己評価を示すべきである。

29	DX推進における各種取組のKPI
-----------	-------------------------

29-1	<p>Q7もしくはQ8において1～3と回答された場合はお答えください。 実施している取組について、達成状況を確認するKPIを設定していますか。</p>
1	すべての取組にKPIを設定し、KGI（最終財務成果指標）と連携させている
2	一部の取組にKPIを設定しKGIと連携させている
3	KPIを設定しているが、KGIと連携させてはいない
4	KPIを設定していない

29-2 記述	<p>Q29-1で1～3を選択された場合は回答してください。 KPIの概要を記入してください。 例（Q8の例）：サブスクリプションサービスの継続率</p>
------------	---------------------------------------------------------------------------------------

30	企業価値向上に関するKPIの開示
-----------	-------------------------

30-1	<p>企業価値向上に関するKPIについて、ステークホルダーに開示していますか。</p>
1	すでにステークホルダーに開示している
2	開示を準備中である
3	開示の予定はない

30-2 記述	<p>Q30-1で1を選択した場合は回答してください。 公開されている資料・URLを記入してください。 例：統合報告書（URL）5ページに記載、アニュアルレポート20ページに記載</p>
------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------

31	DXの成果に関する指標の策定とモニタリング
-----------	------------------------------

31-1	<p>デジタル時代に適応した企業変革が実現できているかについて、指標（定量・定性）を定め、評価していますか。</p>
1	指標を定め評価している
2	指標は定めたが、評価はしていない
3	指標は現状ない

31-2 記述	<p>Q31-1で1もしくは2を選択した場合は回答してください。 具体的に定めた指標について記載ください。評価も行っている場合には、評価方法や結果等についてもご記入ください。</p>
------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------

IV	ガバナンスシステム	
<p>経営者は、デジタル技術を組み込んだ戦略の実施に当たり、ステークホルダーへの情報発信を含め、リーダーシップを発揮するべきである。</p> <p>経営者は、事業部門（担当）やITシステム部門（担当）等とも協力し、デジタル技術に係る動向や自社のITシステムの現状を踏まえた課題を把握・分析し、戦略の見直しに反映していくべきである。また、経営者は、事業実施の前提となるサイバーセキュリティリスク等に対しても適切に対応を行うべきである。</p>		
32	経営トップのメッセージ	
32-1	企業価値向上のためのDX推進について、経営トップが経営方針・経営計画やメディア等でメッセージを発信していますか。	
1	経営トップがDX推進についてのメッセージを社内外に発信している	
2	経営トップがDX推進についてのメッセージを社内に発信している	
3	DX推進について発信していない	
32-2 記述	<p>Q32-1で1または2を選択された場合は回答してください。</p> <p>そのメッセージが記載された資料名・メディア名称・URL等を記入してください。</p> <p>例：アニュアルレポート5ページ、統合報告書（URL）7ページ、●●新聞2019年5月20日号（10面）</p>	
33	経営トップとDX推進部署の責任者（CDO・CTO・CIO・CDXO等）とのコミュニケーション	
33-1	経営トップとDX推進部署の責任者（CDO・CTO・CIO・CDXO等）が定期的にコミュニケーションを取っていますか。	
1	DX推進を主な目的とし、定期的にコミュニケーションをとっている	
2	定期的にコミュニケーションをとっている	
3	不定期にコミュニケーションをとっている	
4	あまりコミュニケーションを取っていない	
33-2 記述	<p>Q33-1で1～3を選択された場合は回答してください。</p> <p>どのような手段でコミュニケーションを図っているかについて、概要を記入してください。</p> <p>例：DX推進を主な目的とし、CEOとCDOが月に2回、個別に打合せの場を設けている</p>	

34	経営トップによるITシステムの課題把握・分析	
34-1	経営トップが事業部門やITシステム部門等と協力しながら、デジタル技術に係る動向や自社のITシステムの現状を踏まえた課題を把握・分析し、戦略の見直しに反映していますか。	
	1	経営トップがデジタル技術に係る動向や自社のITシステムの現状を踏まえた課題を把握・分析し、戦略の見直しに反映している。
	2	経営トップがデジタル技術に係る動向や自社のITシステムの現状を踏まえた課題を把握しているが、その分析や戦略の見直しへの反映には関与していない
	3	経営トップの関与は少ない
34-2 記述	Q34-1で1または2を選択された場合は回答してください。 経営トップによる課題把握等の状況について、概要を簡潔に記載してください。	
35	企業価値向上のためのDX推進についての経営会議での議論	
35-1	企業価値向上のためのDX推進に関して、取締役会・経営会議で報告・議論されていますか。	
	1	取締役会・経営会議で頻繁に報告・議論される
	2	取締役会・経営会議で報告され議題となることはあるが、年に数回程度である
	3	取締役会・経営会議の議題となることはほとんどない
35-2 記述	Q35-1で1を選択された場合は回答してください。 議題となる頻度、議題の例を記入してください。 例：2か月に1回程度、議題の例：AIの全社展開について	
36	経営トップのサイバーセキュリティリスクについての認識	
36-1	経営者がサイバーセキュリティリスクを経営リスクの1つとして認識し、CISO等の責任者を任命するなど管理体制を構築するとともに、サイバーセキュリティ対策のためのリソース（予算、人材）を確保していますか。	
	1	経営者がサイバーセキュリティリスクを経営リスクの1つとして認識し、CISO等の責任者を任命するなど管理体制を構築するとともにサイバーセキュリティ対策のためのリソース（予算、人材）を確保している
	2	サイバーセキュリティリスクを経営リスクの1つとして認識し、CISO等の責任者を任命するなど管理体制を構築しているが、対策のためのリソース確保はこれからの課題である
	3	管理体制の構築および対策のための資源確保はこれからの課題である
36-2 記述	Q36-2で1または2を選択された場合は回答してください。 責任者の役職を記入してください。 例 責任者：経営企画担当常務／セキュリティ対策組織名称：リスクマネジメント委員会	

37	サイバーセキュリティリスクの把握と対策	
37-1	サイバーセキュリティリスクとして守るべき情報を特定し、リスクに対応するための計画（システムの・人的）を策定するとともに、防御のための仕組み・体制を構築していますか。	
1	サイバーセキュリティリスクを特定し、リスク対策計画を策定するとともに、防御のための仕組み・体制を構築している	
2	サイバーセキュリティリスクは特定しているが、仕組み・防御のための体制構築はこれからの課題である	
3	サイバーセキュリティリスクの明確化はこれからの課題である	
37-2 記述	Q37-1で1または2を選択された場合は回答してください。 リスク対策やその対応に関する規定やドキュメントを記入してください。 例：リスク分析表	
38	サイバーセキュリティリスクに対応できる体制の構築に向けた取組	
38-1	サイバーセキュリティリスクに対応できる体制の構築に向けた取組として、情報処理安全確保支援士（登録セキスベ、登録情報セキュリティスペシャリスト）の取得を会社として奨励していますか。	
1	情報処理安全確保支援士の取得を会社として奨励し、実績も出ている	
2	情報処理安全確保支援士の取得を会社として奨励しているが、実績は出していない	
3	情報処理安全確保支援士の取得を会社として奨励していない	
38-2 記述	Q38-1で1または2を選択された場合は回答してください。 会社としてどのように奨励しているかについて簡潔に記載してください。 例：情報処理安全確保支援士の取得を社内広報でアナウンスするとともに、資格取得者には一時金を支給	
39	サイバーセキュリティへの取組に関する開示	
39-1	サイバーセキュリティを経営リスクの一つと捉え、その取組を前提としたリスクの性質・度合いに応じて、サイバーセキュリティ報告書、CSR報告書、サステナビリティレポートや有価証券報告書等への記載を通じて開示を行っていますか。	
1	セキュリティポリシー、関連投資、体制、日常的なPDCA活動などに関して、紹介・開示を行っている	
2	セキュリティポリシーなど一部の関連情報のみ、紹介や開示をしている	
3	開示項目の選定含めて、開示を準備中である	
4	開示の計画はない	
39-2 記述	Q39-1で1または2を選択された場合は回答してください。 掲載されている資料名を記入してください。 当該資料が公表されている場合は、公表先（URL等）をご記入ください。 例：リスクマネジメントレポート2020(URL)●～●ページ	